



国立大学法人

東京医科歯科大学
難治疾患研究所



文京区



学際生命科学東京コンソーシアム
Tokyo Interdisciplinary Life Science Consortium



東京医科歯科大学 難治疾患研究所 市民公開講座

— 最先端生命科学講座シリーズ 第29回 —

東京医科歯科大学難治疾患研究所は、「難治疾患に挑む。」をミッションに掲げる研究所であり、がん、心・血管病、神経疾患、骨・関節疾患、感染症・免疫病、生活習慣病など、幅広い領域にわたって研究しています。2009年から、文部科学大臣により難治疾患の全国共同研究拠点に認定されています。本市民公開講座では、最先端の研究内容を一般の方々にわかりやすくご紹介します。※本公開講座は医療講演ではありません。

日時 **2021年 10月22日(金) 午後7時～9時**

開催方法 **オンライン (Zoom)**

共催 **東京医科歯科大学・文京区・公益財団法人文京アカデミー**

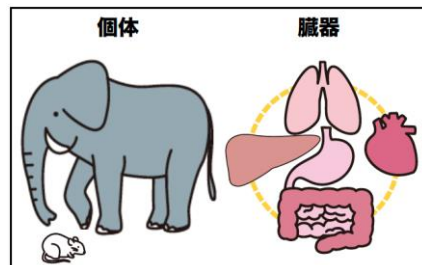
講演 1 個体の大きさ、臓器の大きさ

にしな ひろし

講師 **仁科 博史** (難治疾患研究所 所長・教授)



ヒトを含む動物は進化の過程で生息域に適応しつつ、個体や臓器の大きさを多様化させてきました。この多様性は代謝や寿命などの生理機能と関連しているので、どうか？個体や臓器の大きさの視点から動物の特性を考えます。また、移植・再生医療における大きさの重要性についてもお話いたします。



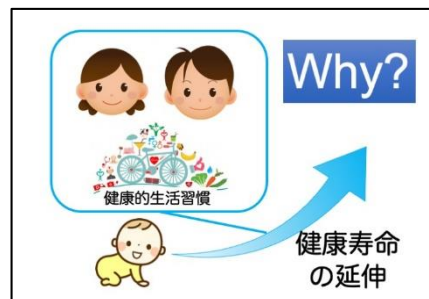
講演 2 遺伝子と栄養環境の影響を理解して子々孫々の健康を守る

さとう のりこ

講師 **佐藤 憲子** (難治疾患研究所 准教授)



人生100年時代を生きる子や孫には、できるだけ長く健康でいてほしいものです。健康寿命を縮める代表的な疾患に高血圧、糖尿病があります。これらの疾患の遺伝の仕組みに関する最新の知見を紹介し、子孫の健康を守るためにプレママ、プレパパの健康的な食生活がなぜ重要なのかを説明いたします。



みなさまのご参加をお待ちしております (定員80名・参加費無料・9/25受付開始)

※対象：15歳以上 (中学生を除く)

参加を希望される方は、公益財団法人文京アカデミーHP (<https://www.b-academy.jp/>) からお申し込みください。

※切：10月15日(金) 23:59まで ※切を過ぎての申し込みは、電話でお問い合わせください。

アカデミー文京 学習推進係 ☎03-5803-1119 (平日9:00~17:00)

学際生命科学東京コンソーシアムは、東京医科歯科大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学と連携し、地域のみなさまと産官学連携によるイノベーションの推進に貢献します。